

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 アブソリューション・アクセル	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.460	ΔRG 0.010	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：アブソリューション・アクセル

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

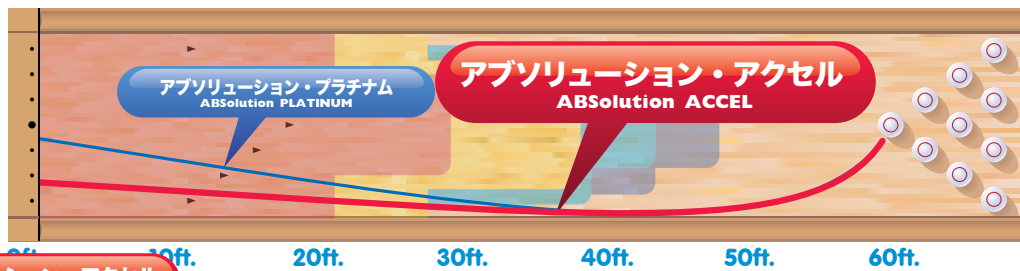
比較対照ボール：アブソリューション・プラチナム

フレアーの幅 インチ

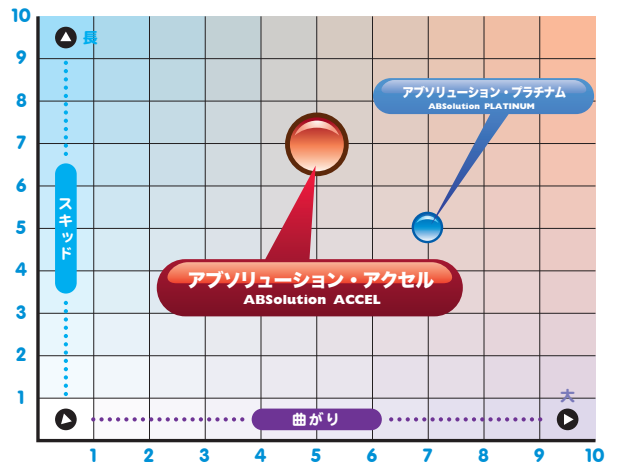
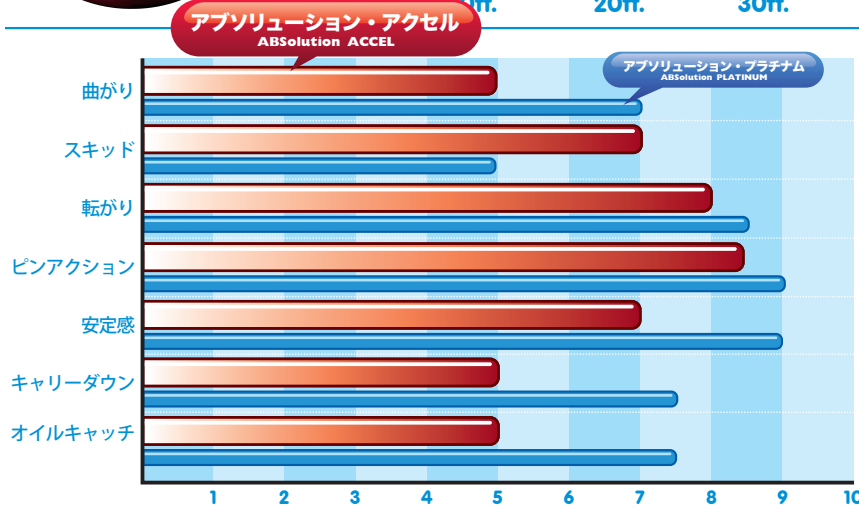
PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

NANODESUブランドを輩出する日本エポナイト社。日本エポナイト社のブランドは国産リアクティブ素材を原料とするABSolutionとGalaxy、PureurethanのPure Roll、Urethan素材を使わないNanoFlexを使ったAccu-Roll、Superiorシリーズです。今回のABSolution ACCELは新素材のリアクティブ素材、New Core Technologyで、2016年2月のABSolution SPEED以来の走りに特化したSpecで皆様にお届けします。

”ただ曲がらない”ボール、そんなつまらないボールは作りません。新しいCoreはRGを低くしてボールが手から放たれた瞬間から十分な転がり感をだします。そしてΔRGをできるだけシェイプすることでフレア幅を最小限に抑え、曲り幅を調整しています。走り系の中にもしっかりと転がり、ボールの強さをピンに伝える。

日本エポナイト社の真骨頂でもある衝撃吸収コアシステムを搭載して”ただ曲がらないボール”ではなく、ドライコンディションの「スペシャルなボール」。それがこのABSolution ACCELの開発コンセプトです。

テストングを重ねるごとにACCELに求めたものは、オイルに流され過ぎないキャッチとしっかりとコントロールできることでした。走り過ぎて使い道がよくわからなくなるよりも、少し曲りが見えて「どれぐらいドライに合わせればポケットまでいくのか」想像しやすいリアクションと走りを同時に兼ね備えることでした。かなりドライにならないと使えないというよりは、削れてラインが見え始めてからかなりドライになるまで使用して頂けると思います。曲りが少ないボールは欲しいけれど、ウレタンまではと考えている方はこのABSolution ACCELを試してください。曲りのおさまり具合も含め、きっと要望を叶えてくれる領域に仕上がっていると思います。

特記事項

ただ曲がらないボールではない、さまざまな場面を想定してミディアムライト～ドライなコンディションをカバーします。国産特有のピン飛びの良さも十分感じられます。